

本大会で例年公表しているチェックポイントの回る順番および取捨選択に関する戦略解説を作成しました。復習などに役立てていただければ幸いです。

### 得点設定

まず総得点は4109点ですが、前年とほぼ同様、得点率=2900~3000点/52kmが事実上最高得点となるよう設定をしております(3時間の部では1800点/31km)。また、今回は想定されるルート回し毎に得点率に幅を持たせており、

- ・得点率は回しによって45点/km~55点/kmの範囲で振れる
- ・実走距離が長くなればなるほど、一部のエリアを集中して回るよりもより広く回るほうが比較的得点率が高くなる

を目標に設定いたしました。この後の想定戦略でも触れますが河川によって分断されたエリアをうまく跨いで点数を稼げるかどうかポイントとなっています。

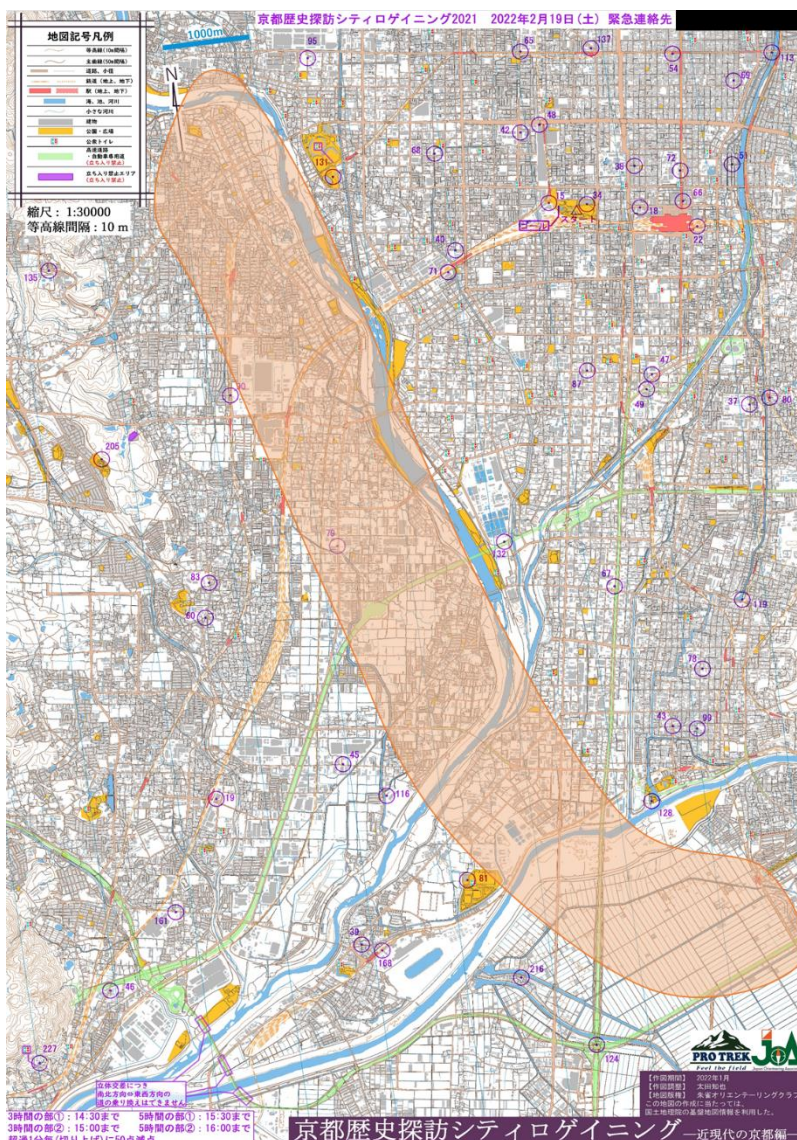
### 戦略解説

今回のエリアとチェックポイント配置の特徴として、

- ① アップダウンのあるチェックポイントが少ない
- ② 会場周りでの時間調整が簡単
- ③ 桂川、宇治川などでエリアが分断されエリア間の往来が難しい

が挙げられます。

まず①②について。ほとんどが平地のエリア、かつ特に会場付近では碁盤の目で実走距離がわかりやすく、自身の体力に対して回れる範囲の予想が立てやすくなっています。さらに会場周りの時間調整がしやすく多少予想を緩く立てても穴埋めは可能です。今回はこれらが容易であるからこそ重要となるような得点配置としました。まずはどこまで遠方へ行けるかおおよそ予想を立てましょう。以下に主要なチェックポイントだけを回った場合の実走距離の具体例を挙げておきます。



	ルート	実走距離
北回り	会場-陸上自衛隊桂駐屯地(90点)-京都府警察自動車運転免許試験場(116点)-三栖閘門資料館(128点)-関西電力墨染発電所(119点)-会場	26km
中央	会場-東華菜館(113点)-餃子の王将四条大宮店(137点)-平安寺(95点)-京都市洛西竹林公園(205点)-鳥羽水環境保全センター(132点)-稲荷駅ランプ小屋(80点)-会場	30km
南回り	会場-京都市洛西竹林公園(205点)-アサヒビール大山崎山荘美術館(227点)-旧山田家住宅(216点)-三栖閘門資料館(128点)-関西電力墨染発電所(119点)-鳥羽水環境保全センター(132点)-会場	39km

次に③について。桂川と宇治川は橋が少ない上、前ページに示すような帯状のエリアは得点率が低く河川を渡る選択がしづらくなっています。しかし北東エリアのみでは合計得点 2215 点が限度で、より高得点を狙うためにはエリアの移動が必須となります。そのため、得点率の低いエリアを通過する距離を最小限に抑えて北東と南西の得点率の高いエリアを効率よく回ることが重要となります。ここで自身の走行可能距離を見誤ると西エリアでうまく得点を得ることができず走行距離が無駄に長くなってしまいますので注意しましょう。

### 想定ルート

以上のことを簡潔にまとめると以下のようになります。

- ・河川によってエリアが分断されている
- ・広範囲を万遍なく回るほうが得点率が高い

これを踏まえると、例として右のような赤・青・緑のようなルート回しが考えられます。いずれも得点率は大きくは変わりません。ただ、この中でも赤ルートが最も遠方に向かうため途中のチェックポイントの取捨選択が難しいですが、うまく選択できれば多少優位に立つように設定されています。青ルートや緑ルートにも言えることですが、具体的には、各回しの高得点(赤ルートであれば 205,227,216,132)を軸にその間にあるチェックポイントを回収することに徹し、地図の端にあるチェックポイント(124,135など)は避けると効率よく遠方まで行くことができ、高得点が期待できるでしょう。

また、今回は会場付近にチェックポイントが豊富にあり最後の時間調整がしやすいので、序盤にできるだけ遠方に向かうほうが有利となります。いずれのルート回しの場合でもまずは取り過ぎに注意しつつ南に向かい、時間を見計らって北のエリアに方向転換するとよいでしょう。

